

入間市新水道ビジョンに位置づけられる令和3年度水道事業

基本施策「災害に強い水道施設の整備」

1) 施設の適正な維持管理

○ 漏水調査：1,100万円（税抜1,000万円）

調査期間 4月発注予定～令和4年3月（予定）

調査地域 東金子、宮寺、二本木地区

※ 管路の更新を行った区域は調査対象より除きます。

○ 消火栓保守点検：162万3千円（税抜147万6千円）

調査期間 5月発注予定～令和4年2月（予定）

調査地域 藤沢、西武地区

○ 空気弁保守点検：242万9千円（税抜220万8千円）

調査期間 10月発注予定～令和4年3月（予定）

調査地域 豊岡地区

○ 漏水修理業務委託関連（配水費）：8,466万円（税抜7,696万3千円）

- ・公道漏水修理業務委託：4,180万3千円（税抜3,800万3千円）
- ・更生工事：234万9千円（税抜213万5千円）
- ・宅地内漏水修理業務委託（私道内）：910万3千円（税抜827万5千円）
- ・宅地内漏水修理業務委託（宅地内）：1,321万1千円（税抜1,201万円）
- ・破損（公道）漏水修理業務委託：50万8千円（税抜46万2千円）
- ・破損（宅内）漏水修理業務委託：27万3千円（税抜24万8千円）
- ・漏水修理待機業務委託（土・日・祝日）：676万5千円（税抜615万円）
- ・漏水修理待機業務委託（平日）：1,064万8千円（税抜968万円）

2) 計画的な施設の更新

○ 南峯配水池解体工事（その他特別損失）：2 億 2,082 万 5 千円（税抜 2 億 75 万円）

現在、休止施設となっている南峯配水池の解体工事を行うものです。南峯配水池は耐震性能が低く、地震等による崩壊の危険性を考慮し、解体を行うことにより周囲の安全の確保を図ります。

（工事内容） 配水池解体 2 池
 流量計室解体 1 棟
 薬品室解体 1 棟

○ 西武第一配水池建替工事（配水場建設費）：2 億 7,005 万円（税抜 2 億 4,550 万円）

西武第一配水池は、建設から 45 年が経過し老朽化していること、また、耐震性能も低いと考えられること、更には寺竹配水場の稼働に伴い、既存の配水池（容量 2,000 m³）よりも容量を縮小できることから配水池の建て替え工事を行うものです。耐震性能を有する配水池に建て替えることにより、大規模な地震が発生した場合でも被害を最小限に抑え安定給水を図ることが出来ます。令和 3 年 11 月から令和 5 年 3 月までの 2 カ年の継続事業で工事を実施します。

（継続事業費） 540,100 千円 令和 3 年度 270,050 千円
 令和 4 年度 270,050 千円
 （工事内容） 配水池建替（容量 1,325 m³） 1 棟

○ 扇町屋配水場改修工事（配水場改良費）：6 億 1,050 万円（税抜 5 億 5,500 万円）

昭和 49 年 12 月竣工し、平成 7・8 年度の改修以来 25 年が経過し、老朽化が進んでいます。設備機器の耐用年数を迎えたことから、今後も安定的な給水を継続するため、最新の設備機器へ更新するものです（想定耐用年数は機器により差はありますが 20～30 年です）。工事は令和 3・4 年度の 2 カ年の継続事業で実施します。

（継続事業費） 1,221,000 千円 令和 3 年度 610,500 千円
 令和 4 年度 610,500 千円
 （工事内容：主な更新設備） 配水ポンプ、受変電・動力設備、
 自家用電気発電設備（自家用電気発電設備室建設を含む）

○ 入間台加圧場改修工事（加圧場改良費）：1 億 9,550 万円 （税抜 1 億 7,772 万 7 千円）

平成 7 年の竣工後、25 年が経過し、設備機器の耐用年数を迎えたことから、今後も安定的な給水を継続するため、最新の設備機器へ更新を行うものです（想定耐用年数は機器により差はあります。水中ポンプは概ね 15 年、電気設備は 20～30 年です）。工事は令和 3・4 年度の 2 カ年継続事業で実施します。

（継続事業費） 391,000 千円 令和 3 年度 195,500 千円

令和 4 年度 195,500 千円

（工事内容：主な更新設備） 配水ポンプ、受変電・動力設備、自家用電気発電設備

3）老朽管（硬質塩化ビニル管）の更新や重要幹線となる配水管の耐震化

○ 硬質塩化ビニル管更新事業（単独事業）：3 億 473 万 3 千円 （税抜 2 億 7,703 万円）

短期耐震化計画（老朽管布設替計画）に基づき、昭和 40 年代から昭和 50 年代に布設された硬質塩化ビニル管をダクタイル鋳鉄管に布設替えを行うものです。令和 3 年度は約 3,155m（単年度事業分約 2,105m、継続事業分約 1,050m）の工事を実施します。

（工事内容）

- ・ 市道 C20・C23 号線外 3 路線配水管布設替工事 L=470m
- ・ 市道 F22 号線配水管布設替工事 L=480m
- ・ 市道 B590 号線配水管布設替工事 L=255m
- ・ 市道 B361・387 号線配水管布設替工事 L=295m
- ・ 市道幹 56 号線配水管布設替工事 L=410m
- ・ 市道幹 11 号線配水管布設替工事 L=55m
- ・ 市道 A285 号線配水管布設替工事 L=140m
- ・ 市道幹 34・幹 40 号線配水管布設替工事（令和 3・4 年度継続事業）L=1,050m

○ 旧防衛庁共済団地内配水管布設替工事：7,509 万 2 千円 （税抜 6,826 万 5 千円）

旧防衛庁共済団地内における昭和 44 年に布設された全長約 1,090m の硬質塩化ビニル管をダクタイル鋳鉄管に布設替えを行うものです。工期は令和 2 年 10 月から令和 4 年 3 月までの 2 カ年の継続事業で工事を実施します。

(継続事業費) 150,184 千円	令和 2 年度	75,092 千円
	令和 3 年度	75,092 千円
(工事内容)	管布設延長 : 1,208m、管種 : ダクタイトル鋳鉄管 口径別延長 : φ75 880m、φ100 212m、φ200 134m 給水戸数 : 81 戸	
○ 入間ヶ丘団地内配水管布設替工事 (第三工区) : 8,031 万 1 千円 (税抜 7,301 万円)		
<p>入間ヶ丘団地内における昭和 44 年から昭和 45 年に布設された全長約 4,000m の硬質塩化ビニル管をダクタイトル鋳鉄管に布設替えを行うものです。当該工区では施工区間延長 1,285m (管布設延長 1,285m) の布設替工事を行います。工期は令和 3 年 9 月から令和 5 年 3 月までの 2 カ年の継続事業で工事を実施します。</p> <p>(継続事業費) 160,622 千円 令和 3 年度 80,311 千円 令和 4 年度 80,311 千円</p> <p>(工事内容) 管布設延長 : 1,285m、管種 : ダクタイトル鋳鉄管 口径別延長 : φ75 765m、φ100 520m 給水戸数 : 116 戸</p>		
○ 重要幹線更新事業 (単独事業) : 8,142 万 2 千円 (税抜 7,402 万円)		
<ul style="list-style-type: none"> ・西武支所線バックアップ管整備工事 (第一工区-1) : 5,060 万円 (税抜 4,600 万円) ・市役所線配水管布設替工事 (第一工区) : 3,082 万 2 千円 (税抜 2,802 万円) 		
○ 水管橋更新事業 : 2,585 万円 (税抜 2,350 万円)		
<ul style="list-style-type: none"> ・不老橋架替に伴う仮設管布設工事 : 110 万円 (税抜 100 万円) ・宮寺 15 号橋架替に伴う配水管布設替工事 : 1,100 万円 (税抜 1,000 万円) ・西武 14 号橋架替に伴う配水管布設替工事 : 547 万 8 千円 (税抜 498 万円) ・藤沢橋架替に伴う仮設管布設工事 : 827 万 2 千円 (税抜 752 万円) 		

○ 入間ヶ丘団地内配水管布設替工事（第三工区）：8,031万1千円（税抜7,301万円）

入間ヶ丘団地内における昭和 44 年から昭和 45 年に布設された全長約 4,000m の硬質塩化ビニル管をダクトイル鋳鉄管に布設替えを行うものです。当該工区では施工区間延長 1,285m（管布設延長 1,285m）の布設替工事を行います。工期は令和 3 年 9 月から令和 5 年 3 月までの 2 カ年の継続事業で工事を実施します。

(継続事業費) 160,622 千円 令和3年度 80,311 千円

令和4年度 80,311 千円

(工事内容) 管布設延長：1,285m、管種：ダクタイル鋳鉄管

口径別延長：φ75 765m、φ100 520m

給水戸数：116 戸

○ 重要幹線更新事業（単独事業）：8,142万2千円（税抜7,402万円）

- ・西武支所線バックアップ管整備工事（第一工区-1）：5,060万円（税抜4,600万円）
- ・市役所線配水管布設替工事（第一工区）：3,082万2千円（税抜2,802万円）

○ 水管橋更新事業：2,585 万円（税抜 2,350 万円）

- ・不老橋架替に伴う仮設管布設工事 : 110 万円 (税抜 100 万円)
- ・宮寺 15 号橋架替に伴う配水管布設替工事 : 1,100 万円 (税抜 1,000 万円)
- ・西武 14 号橋架替に伴う配水管布設替工事 : 547 万 8 千円 (税抜 498 万円)
- ・藤沢橋架替に伴う仮設管布設工事 : 827 万 2 千円 (税抜 752 万円)

● 令和３年度当初予算における入間市新水道ビジョンに掲げる基本方針の達成度

① 損益黒字の確保（損益黒字を確保します）

令和３年度は、南峯配水池解体工事により２，３３７万７千円の純損失を見込んでいます。

② 安定的な自己資金残高の確保（日常の資金繰りと災害時に備えて内部留保資金を１５億円以上確保します）

内部留保資金は、約２５億７，３００万円の確保見込みです。

③ 給水収益に対する企業債残高の割合を一定限度内に抑制（令和８年度の「給水収益に対する企業債残高の割合」は１５０％以下とします）

「給水収益に対する企業債残高の割合」は１１８．７％です。

④ 適正な料金収入の確保（「料金回収率」は１００％以上を維持します）

「料金回収率」は１００．５６％です。